

進捗報告書（実行団体）

事業名:	自然体験を取り戻そう！！～とちぎの未来を背負う子どものために～
資金分配団体:	特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク
実行団体名:	特定非営利活動法人那須高原自然学校
実施時期:	2020年7月～2021年3月
事業対象地域:	栃木県
事業対象者:	栃木県内の子ども（未就学児～高校生）、大学生、社会人

Version 1.2

日付： 2021年12月24日

I. 事業概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none">● 県内の子どもたちに、新型コロナウイルス感染対策をとりながら、日帰り型、宿泊型の自然体験活動の機会を届けるために、自然体験プログラムを企画立案及び実施した。● 経済的に困窮している家庭の子どもたちも自然体験活動に参加できるように、子ども支援団体とも連携し仕組みをつくり、森の中で活動するプログラムを企画立案及び実施した。● 県内自然体験活動団体に声掛けを行い、ろまんちっく村にて屋外の自然体験イベントを開催した。● 構成4団体のボランティアや自然体験活動従事者等を対象とした研修の実施した。● 新型コロナウイルス感染状況により、随時計画を変更しながら事業を実施している。

II. 進捗報告の概要

総括
<p>【サシバの里自然学校】</p> <p>サシバの里自然学校の対象としていた幼児向け施設ではコロナが落ち着くにつれて、延期となっていた園内行事を再開する動きが活発になり、参加予定の施設が減少してしまった。よって、冬からはイベント型の子供向け自然体験プログラムを中心に実施の予定である。</p>
<p>【トチギ環境未来基地】</p> <p>コロナ禍で外遊びや自然体験の機会を失っている子どもたちに自然体験を届けるという事業目標については、各団体ともベストをつくし、達成ができて良かった。また当団体にとっても県内の他の団体と協力しそれを推進できたことは良かった。運営委員会、合同研修、合同イベントを通じて、団体の枠を超えた共通の問題意識や、共通の取り組みを検討できたことも貴重な時間であった。次年度以降の事業継続のための資金獲得など課題が残るが今後具体的な検討に入りたい。</p>
<p>【とちぎYMCA】</p> <p>緊急事態宣言により延期をしたが、10月の日帰り体験は実施することができた、子どもたちも自然体験を楽しむことができた。冬には2回のキャンプを計画しており、申込人数などを調整して多くの参加者を受け入れられるように検討している。</p>
<p>【那須高原自然学校】</p> <p>子どもたちの外での遊びが制限されたり、手洗い消毒などストレスのかかる生活様式の中で、キャンプに対するニーズは高まっていると感じている。参加者の様子を見ても森の中でのびのびと活動している印象が強く、外で遊ばせたいという意識がある親御さんも多い。普段できないキャンプという体験の中で様々なことを経験して、新型コロナをはじめとする逆境や困難に対しても乗り越えていけるような次世代の子どもたちの育成を続けていく。</p>
<p>【とちぎ自然体験コンソーシアム】</p> <p>今年度から組織しているコンソーシアムとしては、県内の同業者のネットワークが出来たことが大きな成果である。お互いで情報共有して、またイベントなどで連携して発信することで、1団体で出来ないことも可能になった。今後も4団体間で連携を取り県内の自然体験活動の発展や子どもたちの健全な育成に協力していきたい。</p>

【サシバの里自然学校】 幼児施設向け自然体験プログラム 幼児親子向け自然体験プログラム	計画通り	幼児施設向け自然体験プログラムは実施数を8/9回終了。2月に1回実施予定。 子供向け自然体験プログラムを1・2月に4回実施予定。 幼児親子向け自然体験プログラムは11月21日に「森のようちえん体験会」を企画した。県内の自然保育に関わる6団体による自然体験プログラムが実施され、160名が来場した。
【トチギ環境未来基地】 1泊2日キャンプ 日帰り自然体験	計画通り	コロナ禍の影響を受けやすい子どもたちを支えるキッズハウス・いろどり、益子なないろこども食堂と連携し、プログラムを実施することができた。12月20日現在、12回のプログラムを実施し、延べ266人の参加を得た。そのうち、経済的に困難な家庭の子どもたちの参加が60%を越え本事業のねらう参加者層に機会をつくることができている。参加した子どもたちの感想も好評で里山や自然で遊ぶ機会を求めている子どもたちが多くいることを実感している。
【とちぎYMCA】 秋キャンプ 日帰りプログラム～ラフティング体験～ 雪遊びキャンプ	ほぼ計画通り	秋キャンプはコロナの影響などを考慮し中止。代替として2022年1月30日に日帰りのプログラムで実施予定で参加対象は幼児、小学生を検討している。日帰りプログラムラフティング体験は計画通り、10月9日に実施し小学生7名が参加した。雪遊びキャンプは2月26・27日に実施予定で参加対象は幼児、小学生を検討している。
【那須高原自然学校】 夏休みキャンプ 海キャンプ 冬キャンプ スキーキャンプ	ほぼ計画通り	夏休みキャンプは、緊急事態宣言発令により中止。海キャンプは、緊急事態宣言発令中だったが県跨ぎの活動を自粛し、那須町内でのキャンプ「那須の森キャンプ」に計画を変更し、4名（/12名募集）が参加した。1人1人がテントで泊まり、野外炊飯や工作を体験した。冬キャンプは計画通り実施し、6名（/12名募集）が参加した。火遊びやドラム缶風呂、森探検を行った。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>●自然体験活動に参加する子どもの数：感染拡大前に実施していた規模の参加者数を回復する。 ・・・前述のとおり、自然体験活動へのニーズは高まっている。少しずつ参加者数も回復してきているため、1年後は新型コロナ前の規模まで回復する兆しは見えていていると感じる。</p> <p>●子どもたちのリフレッシュ：普段の生活の中でマスク着用や消毒の徹底等の不自由な生活によるストレスを感じている子どもたちに対し、自然の中で活動し、屋外の3密を避けた環境で心身ともにリフレッシュする機会を維持する ・・・各団体で事業を継続することで、少なからず子どもたちがリフレッシュする機会を提供することはできる。しかし、自然体験活動の中で感染終息後に新型コロナ対策（マスク着用や接触機会の自粛など）をどこまで引き続き実施するかは今後検討が必要だと感じる。</p> <p>●新型コロナウイルスの影響を大きく受けている家庭に対しても、自然体験活動に参加しやすい仕組みが整う ・・・新型コロナの家庭への影響は1年で回復することは難しいが、生活困窮家庭への支援は続けていきました。その中で行政の支援や補助金等の助けも必要になってくると思う。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥3,792,120	¥3,792,120	¥665,200	18%
	管理的経費	¥0	¥702,400	¥702,400	¥270,820	39%
合計		¥0	¥4,494,520	¥4,494,520	¥936,020	21%
補足説明		9月までの経費で計算したものです。 10月、11月は事業実施が多かった為、それを踏まえると執行率は約40～50%であると推測する。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>・発達障害の子への対応 内定団体よりご質問頂いた発達障害の子の受け入れ態勢について各団体で様々であり、特に明確な指標はなかった。 今後はコンソーシアムとして精査する必要があると感じた</p>

Ⅶ. その他

自由記述

Ⅷ. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)	有	あしかもメディア掲載 (キッズネイチャーフェス) https://ashikamo.media/kids-nature-festival/ (森のようちえん体験会) https://ashikamo.media/forest-kindergarten/ ろまんちっく村WEB掲載 https://www.romanticmura.com/event/detail.php?ym=2021-11&n=0011 セミナー「子ども支援団体からみる、自然体験活動への期待」フェイスブックページ https://www.facebook.com/events/4269772219781246/?acontext=%7B%22event_action_history%22%3A[%7B%22surface%22%3A%22page%22%7D]%7D
広報制作物等	有	チラシ (キッズネイチャーフェス) http://go-and-joy.com/wp-content/uploads/kidsnaturefes.jpg (森のようちえん体験会) http://go-and-joy.com/wp-content/uploads/morinoyouchien.jpg
報告書等	無	

Ⅸ. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部通報体制を構築